

YOKOHAMA
MINATO MIRAI
HALL
25th

チェコ・フィル

音楽監督・首席指揮者：セミュン・ビシュコフ
チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

ビシュコフとチェコ・フィルの黄金コンビが贈る
ドヴォルザークの第8番 & 「新世界」

セミュン・ビシュコフ

(音楽監督・首席指揮者)

Semyon Bychkov (Music Director/Chief Conductor)

© Petra Hájka

© Petra Hájka

Semyon Bychkov Music Director/
Chief Conductor Czech Philharmonic Orchestra

2023年11月4日(土) 14:00開演 (13:15開場) 横浜みなとみらいホール 大ホール
2:00p.m., Saturday, November 4, 2023 at Yokohama Minato Mirai Hall
みなとみらい線みなとみらい駅 クイーンズスクエア横浜連絡口 徒歩3分

オール・ドヴォルザーク・プログラム

交響曲第8番 ト長調 Op.88 B.163

Antonin Dvořák: Symphony No.8 in G Major, Op.88, B.163

交響曲第9番 ホ短調 Op.95 B.178 「新世界より」

Antonin Dvořák: Symphony No.9 in E Minor, Op.95, B.178, "From the New World"

S:¥20,000 A:¥16,000 B:¥13,000
C:¥9,000 D:¥6,000

一般発売 2023年6月3日(土) 10:00
ジャパン・アーツぴあオンラインチケット 5月27日(土) 10:00
横浜みなとみらいホールインターネット先行 5月30日(火) 10:00

※料金には消費税が含まれております。※先行販売で満席となった席種は、以降販売されない場合がございます。※特別割引料金については裏面をご覧ください。

お申込み

ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp

横浜みなとみらいホールチケットセンター

WEB: <http://minatomirai.pia.jp>

TEL: 045-682-2000 (電話: 10:00~17:00/窓口: 11:00~19:00 休館日・保守点検日を除く)

神奈川芸術協会 045-453-5080 kanagawa-geikyo.com

チケットぴあ t.pia.jp [Pコード: 241-765]

イープラス eplus.jp

ローソンチケット l-tike.com [Lコード: 33498]

主催: ジャパン・アーツ 共催: 横浜みなとみらいホール (公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団) 後援: チェコ共和国大使館

横浜みなとみらいホール (公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団) 〒220-0012 横浜西区みなとみらい2-3-6 Tel. 045-682-2020 Fax 045-682-2023



ビシュコフとチェコ・フィルがなす ドヴォルザークの新たな正像

長木誠司 (音楽評論)

セミヨン・ビシュコフが首席指揮者・音楽監督を務めるチェコ・フィルとともに2度目の来日を果たす。前回2019年のこのコンピの来日も、ビシュコフが就任直後の蜜月時代にすでにこのオーケストラと切り拓いていた新しい世界——それは、このオーケストラの伝統的な音を土台にしながらも、極上のセンスと彫琢の極みを行く響きをブレンドした独特のものだったが——垣間見せてくれたが、コロナ禍を挟んでそれから4年、まさにビシュコフがかつてパリ管やケルン放送響とともにし遂げてきた相即不離の関係が再び築かれようとしている。

ビシュコフとチェコ・フィルの仲は、正式なポストへの就任前から実は濃密であり、われわれはその成果を、交響曲全曲を含む一連のチャイコフスキーの録音で知り得ていた。前回の来日では、そのチャイコフスキー尽くしの成果を樫本大進との共演でまざまざと示してくれたほか、このオーケストラの十八番とも言えるスメタナの《わが祖国》に、ビシュコフならではの太い筆致による量感ある音楽を聴かせてくれた。

2019年にもドヴォルザークの《新世界より》を来日プログラムにのせていたコンビだが、今回はそのドヴォルザーク作品がまさに中心になる。19世紀に、もともとプラハの国民劇場のオーケストラとして発足したチェコ・フィルは、当然民族性に敏感なオーケストラであり、チェコ人の指揮者が多く指揮台に立ってきたが、近年はゲルト・アルブレヒトやアシュケナージ、そしてインバルといった国際的な顔ぶれが指導してきた経緯もある。内向きの民族性にとらわれることなく、むしろ他流試合と積極的に取り組むことによって、自国の音楽文化に新たな生命力をつぎ込もうとしてきた歴史を持ってきたと言えるだろう。ピエロフラーヴェック没後、ビシュコフの招聘もその流れの上では当然のできごとだった。

プログラムは《新世界より》に第8番を加えた2曲の後期交響曲だけの、いわば横綱相撲である。聴き手がこのオーケストラに対して抱く期待をまさにくすぐるような、そしてチェコ・フィル元来の持ち味、その得意のレパートリーを活かしつつも、そこにいわば民族性の外部から鋭利に分け入って、みごとに手中に収めたことをビシュコフ自らが宣言するかのよう、自信満々のラインアップである。チェコ・フィルによる新世代の「新世界」と第8番、それをぜひ体験して欲しい。



© Marco Borggreve

セミヨン・ビシュコフ (音楽監督・首席指揮者)
Semyon Bychkov (Music Director/Chief Conductor)

1952年レニングラード(現・ Санктペテルブルグ)生まれ。1975年アメリカに移住し、1980年代半ばよりヨーロッパをベースに活躍している。

2013年のチェコ・フィルとの公演に続いて、彼は同楽団と「チャイコフスキー・プロジェクト」を開始。コンサート・シリーズやスタジオ録音などを通して、チャイコフスキーの音楽を追求する喜びを共有している。同プロジェクトでは、2016年秋にデッカ・レーベルから交響曲第6番「悲愴」(カップリングは幻想序曲「ロメオとジュリエット」、1年後には「マンフレッド交響曲」をリリース。そして2019年秋には、チャイコフスキーの交響曲全曲、3つのピアノ協奏曲、弦楽セレナード、「フランチェスカ・ダリミニ」などが収録されたボックスセットの発売と、それに続く同楽団のプラハ、東京、パリ、ウィーンでの公演で最高潮を迎えた。

ソビエト連邦を離れてから14年後の1989年、彼は母国に戻り、 Санктペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団の首席客演指揮者に就任。そして同年、パリ管交響楽団の音楽監督に就任した。また、その数年前からニューヨーク・フィル、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管などの楽団で活躍し、国際的なキャリアが活発になった。1997年にはケルン放送交響楽団の首席指揮者、1998年にはドレスデン国立歌劇場の首席指揮者に就任。2018年10月、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者・音楽監督としての任期をスタートさせた。

ビシュコフは、欧米の主要オーケストラや歌劇場で指揮をしている。チェコ・フィルのタイトルの他、BBC交響楽団の名誉称号も与えられ、BBCプロムスには毎年登場している。また2015年のインターナショナル・オペラ・アワードでは、「コンダクター・オブ・ザ・イヤー」に選出された。



© Petra Hajska

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団
Czech Philharmonic Orchestra

創設127年のチェコ・フィルハーモニー管弦楽団は、1896年1月4日に有名なルドルフ・ヌムでの創立公演でオール・ドヴォルザーク・プログラムを演奏したが、指揮をしたのは作曲者自身であった。チェコ・フィルは、祖国の作曲家の音楽の解釈において絶対的な信頼を得ていると同時に、ブラームス、チャイコフスキー、そして1908年に自作の交響曲第7番を同楽団で自ら指揮したマーラーの音楽との深い関係性が知られている。

1945年、首席指揮者のラファエル・クーベリックが、チェコスロヴァキアの解放に感謝を捧げる公演で「わが祖国」を指揮し、その45年後にはまた、チェコスロヴァキアの最初の自由選挙を記念する曲に選んだ。チェコ・フィルの誇り高き歴史は、ヨーロッパの中心に本拠地を構える地域性と、チェコ共和国の不安定な政治の歴史を反映しており、スメタナの「わが祖国」が、強力なシンボルとなっている。

第一級のソリストたちと贈る ドヴォルザーク・プログラム!

2023年 10月29日(日) 14:00開演(13:15開場)	10月31日(火) 19:00開演(18:15開場)	11月1日(水) 19:00開演(18:15開場)
チェロ協奏曲 短調 Op.104 B.191 (チェロ/パブロ・フェランデス)	ピアノ協奏曲 短調 Op.33 B.63 (ピアノ/藤田真央)	ヴァイオリン協奏曲 短調 Op.53 B.108 (ヴァイオリン/ギル・シャム)
交響曲第8番 長調 Op.88 B.163	交響曲第7番 短調 Op.70 B.141	交響曲第9番 短調 Op.95 B.178「新世界より」
会場: サントリーホール Suntory Hall	東京メトロ「溜池山王駅」13番出口徒歩10分 東京メトロ「六本木一丁目」駅徒歩5分	特別協賛: 三井住友海上プライマリー生命
SS席25,000円 S席22,000円 A席18,000円 B席14,000円 C席10,000円 D席7,000円		3公演S席通し券60,000円(※限定100セット)

文化庁劇場・音楽堂等の 子供鑑賞体験支援事業対象公演

18歳以下無料
対象公演: 2023年11月4日(土) 14:00開演
対象者: 公演当日、小学校1年生~18歳以下
申込方法は、2023年6月にジャパン・アーツホーム
ページの当公演ページにてご案内いたします。

2023年 その他の日本公演全国スケジュール

- 10/28(土) 愛知県芸術劇場コンサートホール
〈チェロ: パブロ・フェランデス〉
(問) 052-588-4477
- 10/30(月) りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館
コンサートホール 〈ピアノ: 藤田真央〉
(問) 025-224-5521
- 11/3(金・祝) ザ・シンフォニーホール
〈チェロ: パブロ・フェランデス〉
(問) 06-6453-2333

<特別割引チケットのお知らせ>

- ◎シニア・チケット: 65歳以上の方は5¥19,000、A¥15,000にてお求めいただけます。(ジャパン・アーツびあ、横浜みなとみらいホールチケットセンター、神奈川芸術協会にて受付)
- ◎学生席(各席種の半額)
残席がある場合に限り、2023年8月30日(水)10:00から受付を開始いたします。社会人を除く公演当日25歳までの学生対象です。当日は学生証をご提示の上、ご購入ください。(学生証がない場合、一般価格との差額を頂戴いたします。ジャパン・アーツびあ、神奈川芸術協会にて受付)
- ◎車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(ジャパン・アーツびあコールセンターのみで受付)

次のことあらかじめご承知の上、チケットをお求めください。

- ①やむを得ない事情により、出演者、曲目・曲順等が変更になる場合がございます。
 - ②公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。
 - ③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。
 - ④演奏中は入場できません。
 - ⑤未就学児の同伴はご遠慮ください。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚チケットが必要です。
 - ⑥全席指定です。指定のお席でご鑑賞ください。
 - ⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。
 - ⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因となりますのでお断りいたします。
 - ⑨他のお客様の迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。
- Twitterでフォローする
@japan_arts